
家族と看護

前 馬 理 恵 教授

谷 野 多見子 講師

矢 出 装 子 助教

藤 田 美 佳 非常勤講師

2 年次後期・必修

1 単位・30 時間

【概要・目標】

家族の形態や機能は社会の影響を受けながら変化していくことを歴史的視座から学ぶ。家族が直面している健康問題に対して、家族が主体的に問題解決できるように家族のセルフケア能力を高めるための家族看護の機能を学ぶ。

- 1) 家族看護とは何かを理解する。
- 2) 家族を理解するための諸理論を学ぶ。
- 3) 家族支援の方法・内容について理解する。

【授業内容のスケジュール】

(担当)

- 1) ～ 2) 家族の概念 家族看護学とは
- 3) ～ 4) 家族看護理論
- 5) ～ 8) 多様化する家族 藤田
- 9) 家族看護の実践 <在宅療養児の家族への支援>
- 10) 家族看護の実践 <難病患者の家族への支援>
- 11) 家族看護の実践 <精神疾患患者の家族への支援>
- 12) 家族看護の実践 <要介護高齢者の家族への支援>
- 13) 家族看護の実践 <認知症患者の家族への支援>
- 14) 家族看護の実践 <終末期患者の家族への支援>
- 15) 家族看護における看護者の役割

【評価】

筆記試験 (75%)、レポート (15%)、出席状況および授業への参加態度など (10%) により評価する。ただし、筆記試験は 6 割以上の得点を必要とする。

【教科書】

臺有桂他編「地域療養を支えるケア第 6 版」メディカ出版

【推薦参考図書】

鈴木和子・渡辺裕子共著「家族看護学・理論と実践」日本看護協会出版会

渡辺裕子監修「家族看護を基盤とした在宅看護論」日本看護協会出版会

【その他】